

3密

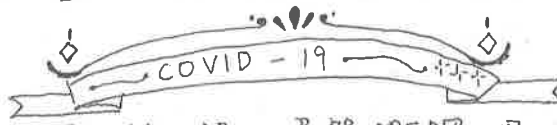
【換気の悪い密閉空間】



【多数が集まる密集場所】



【間近で会話や発声をする密接場面】



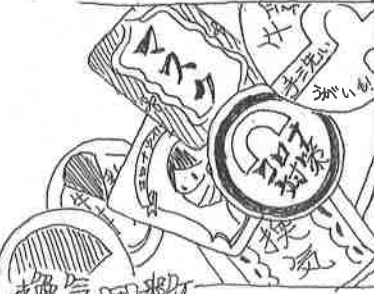
換気
厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策専門会議において、クラスター感染リスクが高い場所として換気の悪い密閉空間があげられています。室内で過ごす際には、こまめに換気を心がけて空気中にある汚染物質(ウイルスや細菌など)を外に出すことがとても大切です。

理由
空気は様々な汚染物質を含んでいます。室内の汚染物質には、二酸化炭素、一酸化炭素、揮発性有機化合物、アレルゲン(ダニ、カビ、花粉等)に加え細菌やウイルスも含まれます。換気によって室内の空気と外の空気を入れ替えることでこれらの汚染物質を外に排出し、薄めることが期待できます。

大切

- 風の「入口」「出口」をつくる
窓をあけて換気する際は1カ所だけでなく、2カ所の窓をあけることが大切です。空気の通り道がうまれ、効率的になります。
- 自然換気(窓をあけて行う換気)
気候上可能な限り常時行います
→ 困難な場合は30分に1回行う
→ 短時間で行う場合は全開にし、扉の上の欄間、廊下側の扉や上下の開口部も開放することが大切です。

指標
「二酸化炭素濃度」
学校環境衛生基準では、換気の指標が定められています。室内の二酸化炭素濃度が1500ppm以下に保たれるよう換気を行います。室内空気は呼吸等によってCO₂濃度が増加すると同時に、ウイルスや化学物質等の他の汚染物質も増加します。



換気回数
1時間あたりに部屋に入る外気量(体積)を居室の容積で割ったもの(空気が入れ替わる回数であり、窓をあける回数ではない)
高等学校 4.6回

学校での結果
(1月実施の結果) 授業開始5分間: 600ppm
二酸化炭素濃度 授業終了前5分間: 1000ppm

学校薬剤師さんのコメント
今回充分換気をして下さっていたので授業開始時も終了時もCO₂は良い値でした。この調子で換気をお願いします。湿度はやや低目でしたが、体感としては問題ありませんでした。

